

2024年9月30日

各位

株式会社三井住友銀行

オカダアイオン株式会社に「SMBC 社会課題解決推進支援融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕）は、オカダアイオン株式会社（代表取締役社長：岡田 祐司）に「SMBC 社会課題解決推進支援融資」を実施いたしました。

「SMBC 社会課題解決推進支援融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業の社会課題解決に向けた取り組み状況を確認した上で、①組織の社会課題への取り組み姿勢等に対する所見と、②ロジックモデル（事業活動を通じた社会課題への道筋を見える化したもの）の仮説を提示し、今後の取り組み推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、オカダアイオン株式会社については、以下に記す事業を通じた社会課題解決について、取組推進に向けたアドバイス等を提供しました。

① 建設機械の解体環境アタッチメント製造・販売・メンテナンスによる鉄・コンクリートリサイクルへの貢献

事業内容	老朽化建物の解体や、がれき除去等に使用する建設機械の解体環境アタッチメントの製造販売を行い、可動域の拡大などの生産性向上に取り組んでおられます。また、アタッチメントのメンテナンスサービスの提供を自社にて提供しておられます。
当該事業を通じて解決を目指す社会課題の概要	社会インフラの点検や修繕などを実施する建築業の就業者数は年々減少しています。また、建設業就業者の高齢化も進行しており、今後も担い手が減少することが予測されます。建設業就業者の減少により、点検や修繕などが想定より遅れ、社会インフラの老朽化が悪化する可能性があります。自然災害などが増加しており、施設の老朽化が災害被害の拡大やその後の復興へ影響を及ぼす可能性があります。
社会課題解決への貢献内容	アタッチメントは、老朽化した建物の解体作業に不可欠であり、鉄・コンクリートリサイクルの入り口を担っておられます。災害時のがれき除去に加え、プラントや発電所の解体作業等に用いられるなど、社会的関心の高いインフラ関連課題にも対応しておられます。メンテナンスサービスによる機器の長寿命化や、解体性能を毎年 1%向上させる定期的なモデルチェンジを行うことで、解体需要に応えています。

② 林業機械の製造・販売・メンテナンスによる国内林業への貢献

事業内容	木材破砕や林業作業、倒木除去等に使用する林業機械および林業機械用アタッチメントの製造販売を行っておられます。また、林業機械のメンテナンスサービスを提供しておられます。
------	---

<p>当該事業を通じて 解決を目指す 社会課題の概要</p>	<p>国内の、木材の自給率は2002年の18.8%から回復傾向にあり、2021年では41.1%となっています。国産材への需要が増える一方で、日本の林業経営体の数は大幅に減少しており、2015年から2020年までの5年間で61%減となりました。森林には、温室効果ガスの吸収や生物多様性の保全といった役割も期待されており、人手不足を緩和しつつ持続可能な森林経営を推進する必要があります。また、森林由来の資源の循環利用も期待されます。</p>
<p>社会課題解決 への貢献内容</p>	<p>日本の森林にマッチした高性能の林業機械の導入により、林業作業の効率を上げることができます。林業は人手不足であるため、作業効率の向上は、持ち直している国内産材木需要を支えることにつながります。また、仕事の効率化により林業従事者の収益が拡大することは、産業全体を盛り上げる効果も期待されます。</p>

株式会社三井住友銀行では、「SMBC 社会課題解決推進支援融資」を通じて、お客さまの幅広い社会課題解決に向けた取組を支援することで、お客さまとともに社会的価値創造の好循環を生み出す取組を推進してまいります。



解体環境アタッチメント
(サイレント TSRC クラッシャー)
SRC 構造など多様な建物構造に対応した
進化型アタッチメント。1台でコンクリー
トの破碎と鉄筋・鉄骨の切断を行えます。



林業機械
(ハイブリッドバケット)
林業・土木作業用複合アタッチメント。
樹木の伐倒・集積や造成作業を1台で対応
し、林道などの路網整備に適しています。

以 上